

到達目標1:心肺、血管系の解剖整理が理解できる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.心臓の解剖整理がわかる	①心臓の大きさ、位置、重さ、各部位の構造等がわかる ④肺循環がわかる ⑤体循環がわかる ⑥心臓の弁の数、場所、構造、働きがわかる ⑨心臓の栄養血管についてわかる ⑩主要三大冠動脈の血流分布についてわかる ⑪刺激伝道系の伝達経路がわかる ⑫心電図の各波形の意味がわかる					
2.呼吸器の解剖が理解できる	①肺の解剖がわかる ②肺を中心とする呼吸器の機能がわかる ③呼吸の仕組みについてわかる					
3.呼吸パターンについてわかる	①正常呼吸 ②頻呼吸 ③徐呼吸 ④過呼吸 ⑤浅呼吸 ⑥クスマウル呼吸 ⑦ビオー呼吸 ⑧チェーンストークス呼吸					
4.呼吸のフィジカルアセスメントができる	①視診、触診、聴診、打診の目的がわかる ②視診、触診、聴診、打診を実施することができる					
5.異常肺音の特徴が理解できる	①連続性異常肺音 a. 笛声音(高音性 wheeze) b. いびき様音(低音性 rhonchus) c. 喘鳴、狭窄音 ②断続性異常肺音 a. 水泡音(粗 coarse crackle) b. 捻髪音(細 fine crackle)					

到達目標2:バイタルサインの観察ができる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.血圧	①血圧とは何かわかる					
	②血圧の正常、異常がわかる					
	③非観血的血圧を測定できる(触診法)					
	④非観血的血圧を測定できる(聴診法)					
2.脈拍	①脈拍とは何かわかる					
	②脈拍の正常、異常がわかる					
	③動脈の部位が触知部位がわかる					
	④脈拍を測定できる					
3.体温	①体温の測定部位がわかる					
	②体温の正常値がわかる					
	③腋窩で体温測定できる					
	④体温測定の注意事項がわかる					
4.呼吸	①呼吸とは何かわかる					
	②呼吸の正常、異常がわかる					
	③呼吸を観察できる					
5.意識	①意識レベルの評価スケールがわかる(JCS,GCS)					
	②鎮静深度の評価スケール(RASS)がわかる					
	③スケールを用いて意識レベル、鎮静深度を評価できる					

到達目標3:CCUの特徴を理解できる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.定義、環境	①CCUの定義が理解できる					
	②CCUの特殊な環境について理解できる					
	③CCUに入室する患者の身体的、心理的特徴が理解できる					
	④CCU看護の概要が理解できる					
	⑥CCU看護師に必要な能力が理解できる					

到達目標1:CCU内での検査、治療がわかる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認	
1.心電図	①刺激伝道系が理解できる						
	②心電図の誘導方法についてわかる						
	③心電図の基本波形と波形の意味がわかる						
	⑤異常時の波形に気付き対応できる						
2.観血的動脈モニター(ABP)	①動脈ラインの役割、必要性がわかる						
	②動脈ラインの挿入部位がわかる						
	③動脈ラインの必要物品がわかる						
	⑤挿入の介助、固定の方法がわかる						
	⑧ゼロ点校正の方法がわかる						
	⑨正常圧波形、波形が意味することを理解できる						
	⑩観察ポイントを理解でき、管理ができる						
	⑪数値の変動時、トラブル時に迅速に対応ができる						
	⑫留置中の合併症がわかる						
3.酸素療法	①SPO2の正常値がわかる						
	②動脈血ガスの正常値がわかる						
	③酸素療法の目的がわかる						
	④各酸素吸入法の特徴がわかる						
	a.鼻カニューレ						
	b.酸素マスク						
	c.リザーバマスク						
	d.インスピロン						
	⑤酸素投与中の副作用及び注意点がわかる						

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
4.NPPV	①NPPVの目的・利点が見える					
	③主な用語及びモードが見える					
	<用語>					
	IPAP					
	EPAP					
	PS(プレッシャーサポート)					
	RR					
	I:E比					
	rise time					
	EIP					
	<モード>					
	A/C					
	S/T					
	CPAP					
	④NPPV装着中の観察ポイントが見える					
	⑤NPPVのモニタリングと管理が見える					

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認	
5.人工呼吸器	①人工呼吸と自発呼吸の違いがわかる						
	②人工呼吸の目的がわかる						
	③人工呼吸器の構造がわかる						
	④主なモードと用語が理解できる						
	<モード> VCV(VC-A/C)、PCV(PC-A/C)						
	VC-SIMV、PC-SIMV						
	PSV						
	CPAP						
	<用語> PS						
	PEEP						
	トリガー						
	吸気圧						
	吸気時間						
	呼吸回数						
	酸素濃度						
	PIP						
	TV、MV						
	⑤各アラームの意味と適切な設定ができる						
	⑥気管内挿管の必要物品がわかる						
	⑦気管内挿管の手順がわかり介助できる						
	⑧気管切開の必要物品がわかる						
	⑨気管切開の手順がわかり介助できる						
	⑩人工呼吸の合併症がわかる						
	⑪呼吸器装着中の看護がわかる						
	a.加温、加湿						
	b.喀痰吸引(閉鎖式、開放式)						
	c.体位変換、肺理学療法						
	d.チューブ固定						
	e.カフ圧管理						
	f.口腔ケア、皮膚、口唇保護						
g.設定確認、モニタリング							
h.回路状態の確認							
⑫鎮痛、鎮静中の看護がわかる							
⑬使用する主な薬剤の作用、副作用がわかる							
⑭RASSを用いて意識レベル、鎮静深度を評価できる							
⑮状況を把握し指示の範囲内で適切な量を調節できる							
⑯事故防止対策ができる							
⑰ウイニング時の看護のポイントがわかる							
⑰抜管後の看護のポイントがわかる							

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
6.中心静脈モニター(CVP)	①CVPの必要性がわかる ②正常波形、CVPの値が意味することを理解できる ③加圧バッグの準備ができる ④ゼロ校正ができモニタリングできる ⑤数値の変動時、トラブル時に迅速に対応できる ⑥観察ポイントが理解でき、管理ができる ⑦留置中の合併症がわかる					
7.スワンガンツカテーテル(S-G)	①S-Gの目的、適応がわかる ②S-Gにより測定できる項目の正常値と意義がわかる a.右房圧(RA) b.右室圧(RV) c.肺動脈圧(PA) d.肺動脈楔入圧(PCWP) ③その他測定できるパラメーターについてわかる a.心拍出量(CO) b.心係数(CI) c.混合静脈血酸素飽和度(SvO2) ④加圧バッグの準備ができる ⑤挿入時の注意点を理解し、介助できる ⑥ゼロ点校正ができ、モニタリングできる ⑦観察ポイントを理解でき、管理ができる ⑧数値の変動時、トラブル時に迅速に対応ができる ⑨留置中の合併症がわかる					
8.フロートラックシステム	①フロートラックシステムの目的がわかる ②挿入部位がわかる ③測定できるパラメーターがわかる CO(心拍出量) CI(心係数) SV(1回拍出量) SVI(1回拍出量係数) SVV(1回拍出量変化) SVR(体血管抵抗) .SVRI(体血管抵抗係数) ④ゼロ点校正ができモニタリングできる ⑤前負荷、後負荷、心収縮の関係が理解できる ⑥数値の変動時、異常時に迅速に対応できる ⑦留置中の合併症がわかる					

9.胸腔ドレナージ、胸腔穿刺	①胸腔ドレナージの目的がわかる					
	②必要物品がわかり介助できる					
	③ドレナージ中の観察ポイントがわかる					
10.スパイナルドレナージ	①スパイナルドレナージの目的、適応がわかる					
	②圧管理ができる					
	a..血圧維持					
	b.ゼロ設定					
	c.髄液流出に応じたドレナージ管理の意味がわかり 指示通り実施できる					
	d.体位に応じたクランプ操作がわかる					
	③ドレナージ抜去予防ができる					
	④感染予防ができる					
⑤観察ポイントがわかる						
⑥ドレナージ抜去の介助が行える						
⑦抜去後の注意点がわかる						

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
11.心嚢ドレナージ	①心嚢ドレナージの目的がわかる					
	②心嚢ドレナージの必要物品がわかる					
	③心嚢ドレナージの介助ができる					
	④ドレナージ挿入中の観察、管理がわかる					
	a.挿入部の発赤、胸部痛、発熱、呼吸苦の有無					
	b.ドレナージの位置、閉塞していないか、ミルキング					
c.排液の量や色など						
d.Jバッグの取り扱い方						

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
11.体外式ヘースメーカー	①ヘースメーカーの役割、適応がわかる					
	a.モード					
	b.レート					
	c.出力					
	d.センシング					
	②ペーシング、センシング作動不全についてわかる					
	③体外式一時ヘースメーカーの取り扱いがわかる					
12.電氣的除細動	①DCの目的、適応がわかる					
	②実施の手順がわかる					
	③実施中の看護がわかる					
	④実施後の観察点がわかる					
	⑤経皮ペーシングがわかる					
13.血液浄化療法	①目的、原理による分類がわかる					
	②適応、効果がわかる					
	a.HD					
	b.HF					
	c.CHD					
	d.CHDF					
	e.ECUM					
	f.PE					
	g.PMX					
	h.PMMA-CHDF					
	③ブラッドアクセスの必要性がわかる					
	④ブラッドアクセスの挿入部位がわかる					
	⑤必要物品がわかる					
⑥挿入時の注意点を理解し、介助ができる						
⑦ブラッドアクセスの管理ができる						
⑧留置中の合併症がわかる						
⑨CHDFの設定条件がわかる						
⑩CHDF中の観察点、看護がわかる						
⑪CHDF中の副作用や合併症がわかる						
⑫アラームの意味を理解しすばやく対応できる						
⑬抗凝固剤の特性とモニタリングがわかる						

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
14.IABP	①目的、原理がわかる					
	②IABPの適応、禁忌がわかる					
	③IABPの効果がわかる					
	④駆動条件の確認内容と設定内容がわかる					
	⑤駆動時の適切なタイミングがわかる					
	⑥IABP挿入中の患者の観察点に分かる					
	⑦合併症の観察ができる					
	⑧アラーム内容を理解し迅速に対応できる					
	⑨感染管理ができる					
	⑩褥創を含む皮膚トラブルを予防できる					
	⑪日常生活の援助ができる					
	⑫離脱時の観察点、看護がわかる					
	⑬離脱後の観察点、看護がわかる					

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
15.経皮的心肺補助装置(PCPS)	①PCPSの原理がわかる					
	②PCPSの適応、禁忌がわかる					
	③駆動条件の観察内容がわかる					
	④送、脱血管の観察点と管理がわかる					
	⑤血液ポンプの観察点と管理方法がわかる					
	⑥PCPS装着中の患者の観察点がわかる					
	a.血圧					
	b.右房圧					
	c.呼吸					
	d.心電図モニタリング					
	e.意識レベル					
	f.体温					
	g.血液ガス分析					
	h.下肢の虚血					
	i.血栓塞栓症					
	j.出血傾向、ACTコントロール					
	k.感染					
	l.カニューレ、回路の観察					
	⑦PCPS挿入中の患者の看護がわかる					
	a.安全管理					
	b.感染管理					
	c.呼吸ケア					
	d.家族への精神的援助					
	⑧PCPS離脱時の患者の看護がわかる					
	a.血圧の維持					
	b.右房圧の確認					
	c.呼吸状態					
	d.自己肺の酸素化					
	e.抗凝固					
	f.心電図					
	g.心機能					
	h.尿量と腎機能					
	i.創部の保護と感染防止					
⑨PCPS離脱後の患者の看護がわかる						

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.不整脈についてわかる	①刺激伝導系が理解できる					
	②正常心電図が理解できる					
	③上室性不整脈の心電図の特徴と治療が分かる					
	a.心室性期外収縮(PAC)					
	b.発作性上室性頻拍(PSVT)					
	c.心房頻拍(AT)					
	d.心房細動(AF)					
	e.心房粗動(AFL)					
	④心室性不整脈の心電図の特徴と治療が分かる					
	a.心室性期外収縮(PVC)					
	b.心室性頻拍(VT)					
	c.心室粗動(VF)					
	⑤伝道障害による不整脈の心電図の特徴と治療、 看護がわかる					
	a.洞房ブロック					
	b.房室ブロック(Ⅰ度、Ⅱ度、Ⅲ度)					
	c.房室解離					
	d.脚ブロック					
⑥洞不全症候群の心電図の特徴と治療、看護が わかる						
2.ペースメーカーについてわかる	①人工ペースメーカーとは何かがわかる					
	②ペースメーカーの適応が分かる					
	③ペースメーカーの種類、設定が分かる					
	a.DDD、VVI設定の意味、作動方法					
	b.CRTの適応、機能がわかる					
	c.ICDの適応、機能がわかる					
	④ペースングの際の心電図が分かる					
	⑤ペースメーカー不全について分かる					
	a.作動不全の種類、心電図が分かる					
	b.作動不全の原因と対応が分かる					
	⑥ペースメーカー挿入時の合併症が分かる					
⑦ペースメーカー挿入患者の観察と看護ができる						
⑧ペースメーカー挿入患者へ指導ができる						
3.カテーテルアブレーションについて理解 できる	①アブレーションとはなにか、及び方法が分かる					
	②適応がわかる					
	③禁忌、不適応が分かる					
	④合併症について分かる					
	⑤施行前後の治療と観察ポイントが分かる					

到達目標①大動脈疾患について理解できる

項目	具体内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.解離性大動脈瘤についてわかる	①病態生理がわかる					
	②検査、分類がわかる					
	③症状、臨床所見がわかる					
	④治療がわかる					
	⑤合併症がわかる					
	⑥四肢の血圧測定の必要性がわかる					
	⑦降圧管理の必要性がわかる					
	⑧降圧管理ができる					
	⑨安静の必要性がわかる					
	⑩苦痛の除去ができる					
	⑪緊急を要する状態がわかる					
2.胸部大動脈瘤についてわかる	①病態生理がわかる					
	②検査、分類がわかる					
	③症状、臨床所見がわかる					
	④治療がわかる					
	⑤スパイナルドレナージについてわかる					
	⑥血圧コントロールの必要性がわかる					
	⑦TEVERのクリニカルパスに沿って看護ができる					
	⑧TEVERの合併症がわかる					
	⑨術後ベッドの準備ができる					
	⑩帰室時の看護がわかる					
	⑪術後の観察ポイントがわかる					
3.腹部大動脈瘤についてわかる	①病態生理がわかる					
	②検査、分類がわかる					
	③症状、臨床所見がわかる					
	④治療がわかる					
	⑤EVERのクリニカルパスに沿って看護ができる					
	⑥EVERの合併症がわかる					
	⑦術後ベッドの準備ができる					
	⑧帰室時の看護がわかる					
	⑨術後の観察ポイントがわかる					

到達目標1:急性冠動脈症候群(ACS)の病態生理がわかる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.虚血性心疾患について理解できる	①虚血性心疾患の定義がわかる					
	②狭心症と心筋梗塞の違いが理解できる					
	③虚血性心疾患のリスクファクターがわかる					
	④虚血性心疾患で使用する薬剤がわかる					
	⑤PCIについて理解できる					
	⑥PCI後の合併症を理解し観察できる					
	⑦CABGについて理解できる					
2.心筋梗塞について理解できる	①心筋梗塞の定義がわかる					
	②冠動脈分布と心筋梗塞部位がわかる					
	③臨床症状がわかる					
	④梗塞部位と心電図異常がわかる					
	⑤心電図の経時的変化についてわかる					
	⑥心筋生化学マーカーの遊出動態がわかる					
	⑦診断に必要な血液検査、その他の検査がわかる					
	⑧右室梗塞時の心電図の必要性がわかる					
	⑨急性心筋梗塞の合併症がわかる					
	a.不整脈					
	b.心不全					
	c.心原性ショック					
	d.心破裂					
e.心室瘤						
⑩使用される主な薬剤がわかる						
⑪治療がわかる						
⑫安静療法の必要性がわかる						
⑬心臓リハビリテーションについてわかる						

到達目標②急性心筋梗塞の急性治療、看護について理解できる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.急性心筋梗塞の治療、看護の概要がわかる	①入室前準備がわかる (救急カート、除細動器、気管内挿管セット、体外式ペースメーカーなど)					
	②入室時の処置がわかる					
	a.心電図モニター装着 ECG					
	b.バイタルサイン測定					
	c.迅速、かつ正確な病歴の聴取					
	d.酸素療法					
	e.抹消ラインの確保					
	f.薬物療法					
	g.バルカテール留置					
	③カテ室入室の準備ができる					
	④胸痛時の観察ポイントがわかる					
	⑤胸痛時の一般的な使用薬品の種類や作用、使用方法 注意事項がわかる					
	⑥塩酸モルヒネの取り扱いがわかる					
	⑦胸痛時の苦痛の緩和の援助、体位の工夫、 精神的サポートができる					
	⑧本人、家族へわかりやすい説明ができる					
	⑨家族への配慮ができる					
	⑩帰室時の処置、看護がわかる					
	⑪PCI時の合併症がわかり観察できる					
	a.腎機能障害					
	b.造影剤アレルギー					
	c.Slowflow/Noflow					
	d.迷走神経反射					
	e.不整脈					
	f.出血					
	⑫IABP挿入の目的とその効果がわかる					
	⑬ACTの採血、評価ができる					
⑭PCI後の合併症がわかる						
a.再狭窄、再梗塞						
b.出血や血腫、仮性動脈瘤、動静脈シャント						
c.不整脈						
d.低心拍出量症候群(LOS)、心原性ショック						
e.安静範囲内での安楽な体位の工夫、腰痛の緩和						
⑮DCの準備、手技がわかる						
⑯安静療法の必要性が説明できる						

⑰指示された範囲内で日常生活の援助ができる				
a.食事				
b.排泄				
c.清拭				
d.睡眠				
e.ストレス				
f.身体的苦痛の緩和				
⑱せん妄の予防ができる				
⑲心臓リハビリテーション中の観察ポイントがわかる				
⑳心臓リハビリテーションを行うことができる				
21患者指導、教育の必要性がわかる				
22患者のライフスタイルを考慮した指導、教育が行える				

到達目標①心不全の病態生理がわかる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.心臓の役割と心ポンプ機能について理解できる	①心臓の役割についてわかる					
	②心周期についてわかる					
	③心ポンプ機能の指標についてわかる					
	a.心拍出量.一回心拍出量の意味と正常値がわかる					
	b.心係数の意味と正常値がわかる					
	c.左室駆出率についてわかる					
	d.前負荷についてわかる					
	e.後負荷についてわかる					
f.心エコー						

2.心不全についてわかる

- ①心不全になる原因を挙げることができる
- ②代償機序がわかる
 - 1)フランクスターリング機序による拡張末期要量の増大
 - 2)交感神経活動の亢進
 - 3)体液性調節
 - 4)心筋肥大
- ③急性心不全と慢性心不全の違いがわかる
- ④左心不全についてわかる
 - a.病態生理がわかる
 - b.臨床症状がわかる
 - c.診断に必要な検査がわかる
 - d.薬剤がわかる
 - e.内科的治療、外科的治療がわかる
 - f.患者の状態に応じた病態の把握、治療の方針がわかる
- ⑤右心不全についてわかる
 - a.病態生理がわかる
 - b.臨床症状がわかる
 - c.診断に必要な検査がわかる
 - d.薬剤がわかる
 - e.内科的治療、外科的治療がわかる
 - f.患者の状態に応じた病態の把握、治療の方針がわかる
- ⑥心疾患以外の主な原因疾患がわかる
- ⑦キリップの分類がわかる
- ⑧フォレスターの分類がわかる
- ⑨クリニカルシナリオの分類がわかる
- ⑩慢性心不全の治療目的がわかる
 - a.前負荷の軽減(水、塩分制限、利尿、血管拡張薬等)
 - b.後負荷の軽減(血管拡張薬、IABP等)
 - c.心収縮の増強(強心薬、CRT等)
- ⑪今回の誘因を明らかにし、その防止策(教育)を実施することができる
- ⑫生活指導の重要性がわかる
- ⑬心臓リハビリテーションがわかる

到達目標②急性心不全の急性治療、看護について理解できる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認	
1.急性心不全についてわかる	①分類がわかる						
	a.慢性心不全の急性増悪						
	b.肺水腫						
	c.高血圧性心不全						
	d.心原性ショック						
	e.純粋な右心不全						
	f.ACSに伴う急性心不全						
	②原因疾患と誘因を理解することができる						
	<心疾患>						
	a.虚血性心疾患						
	b.急激な血圧上昇+拡張不全						
	c.弁膜症						
	d.急性心房細動などの頻脈性不整脈						
	e.心筋炎、心筋症						
	<心臓以外の因子>						
	a.感染症						
	b.貧血						
	c.妊娠						
	d.内分泌疾患						
	e.患者の服薬、食事制限に対するコンプライアンスの低下						
	f.アルコール摂取過剰摂取						
	g.薬物						
	2.超急性期の看護がわかる	①入院の際に準備しておくものがわかる					
		②看護の基本(目的)がわかる					
		③安楽な体位が選択できる					
		④速やかに全身状態の観察及び把握ができる					
⑤観察のポイントがわかる							
⑥検査データが把握できる							
⑦病態を理解しアセスメントが行える							
⑧酸素療法の目的が分かる							
⑨NPPV装着の目的と効果がわかる							
⑩挿管、人工呼吸器管理の必要性がわかる							
⑪補助循環の適応がわかる							
⑫薬物の確実な投与ができる							
⑬塩酸モルヒネの取り扱いがわかる							
⑭HR、血圧のモニタリング、HR、血圧コントロールができる							
⑮IN.OUTがわかる。							
⑯活動制限が必要な理由がわかる							
⑰負荷を最小限にした日常生活の援助ができる							

到達目標①CCUでの基本的な看護がわかる

項目	具体的内容	提出期限	提出確認	評価(×/△/○)	再提出日	提出確認
1.日常生活援助について理解できる	①清潔ケアの目的、必要性、注意点がわかる ②食事介助の必要性、注意点がわかる ③排泄介助の、必要性、注意点がわかる ④口腔ケアの必要性、注意点がわかる ⑤移動時(体交、トランス含む)の注意点がわかる					
2.リハビリテーションについて理解できる	①臥床中のリハビリの必要性がわかる ②臥床中に必要とされるリハビリの内容がわかる a.床上リハ b.ROM運動 c.呼吸リハ ③肺塞栓についてわかる ④肺塞栓予防ができる ⑤リハビリ施行時の注意点がわかる ⑥観察の上でリハビリの実施可能、中止、中断の判断ができる					
3.褥創について理解できる	①褥創の発生機序がわかる ②褥創予防対策の必要性がわかる ③褥創予防の対策の実施ができる					
4.呼吸ケア	①臥床中に生じる呼吸合併症の発生機序がわかる ②呼吸ケアの必要性がわかる ③体位ドレナージについて理解できる					
5.感染管理	①感染予防の必要性がわかる ②スタンダード、プリコーションが実施できる ③リスク因子を理解し、感染徴候の観察ができる					
6.環境整備	①整理整頓の必要性がわかる ②整理整頓が実施できる ②物品の補充や管理が行える ④緊急時にすぐ使用できるよう機器の配置や点検ができる ⑤ルート整理ができる					
7.せん妄	①せん妄とは何かわかる ②CCUの特殊な環境(誘発因子)が理解できる ③せん妄予防対策が実施できる ④事故防止対策が実施できる					
8.鎮痛、鎮静	①鎮痛、鎮静の必要性がわかる ②苦痛の原因をアセスメントすることができる ③鎮痛、鎮静薬使用時の注意点及び看護がわかる					